

せいしんかびょういん ちょうきにゆういん ねんいじょう かた かんするちょうさ
精神科病院に長期入院（1年以上）している方に関する調査
しない せいしんかびょういん そうふ
（市内の精神科病院に送付）

さっぽろし
札幌市

ほけんふくし かん せいしんかびょういんにゆういんかんじゃ あんけー とちょうさ
保健福祉に関する精神科病院入院患者アンケート調査（案）

ひ ごろから、さっぽろし しょう しょう ふくしぎょうせい すいしん りかい きょうりよく あつ
 日ごろから、札幌市の障がい福祉行政の推進に、ご理解・ご協力をいただき、厚く
 お礼を申し上げます。

このたび、札幌市では、「さっぽろ障がい者プラン2018」の改定や、今後の障がい
 福祉施策の推進のための参考資料とするため、精神科病院入院患者の状況などを
 お聞きする調査を行うことといたしました。

とつぜん ねが きょうしゆく しゅし りかい かいとう ねが
 突然のお願いで恐縮ですが、趣旨をご理解いただき、ご回答くださいますようお願い
 いたします。

なお、今回の調査は、札幌市で指定を受けている全ての精神科病院に、送信させて
 いただいたものです。

かいとう ないようとう じょうき もくてきがい しょう
 回答いただいた内容等につきましては、上記の目的以外には使用いたしません。

ご回答にあたって

- 1 回答は別添の「回答票（エクセルファイル）」に入力願います。
- 2 患者ごと連番号を付してください（氏名の記入は必要ありません。）。
- 3 <直接入力>項目は、該当項目に直接回答を入力してください。
- 4 <コード入力>項目は、該当項目の「コード」欄にコード表「区分」コードを
 入力すると、それぞれの区分が自動入力されます。※書式及び数式等は変更し
 ないでください。

ご不明な点やお問い合わせは

かぶしがいいしや ほっかいどうにじゅういちせいきそうごうけんきゅうじょ
 株式会社 北海道二十世紀総合研究所
 TEL011-231-3053 / Fax011-231-3143

さっぽろし いたくぎょうむ
（札幌市委託業務）

A 年齢区分<直接入力>

令和元年9月1日現在の満年齢を記入してください。

B 性別区分<コード入力>

性別を次の区分により記入してください。

区分	性別
1	男
2	女
3	その他

C 精神障害者保健福祉手帳等区分<コード入力>

あなたが持っている障がい者手帳などの種類はどれですか。次の区分により記入してください。(複数回答可)

区分	等級
1	精神障害者保健福祉手帳1級
2	精神障害者保健福祉手帳2級
3	精神障害者保健福祉手帳3級
4	療育手帳A
5	療育手帳B
6	療育手帳Bー
7	手帳等なし

D 入院形態区分<コード入力>

入院形態を次の区分より記入してください。

区分	入院形態
1	措置入院
2	医療保護入院
3	任意入院

E 疾患名区分<コード入力>

疾患名を次の区分により記入してください（厚生労働省調査と同じ区分です）。

区分	疾患名（表示）	疾患名
1	F 0 0	アルツハイマー病型の認知症
2	F 0 1	血管性認知症
3	F 0 2～0 9	アルツハイマー病型認知症、血管性認知症以外の症状性を含む器質性精神障害
4	F 1 0	アルコール使用（飲酒）による精神及び行動の障害
5	覚せい剤	覚醒剤による精神及び行動の障害
6	その他精神・行動障害	アルコール、覚醒剤を除く精神作用物質による精神及び行動の障害
7	F 2	統合失調症、統合失調型障害及び妄想性障害
8	F 3	気分（感情）障害
9	F 4	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現性障害
10	F 5	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群
11	F 6	成人の人格及び行動の障害
12	F 7	知的障害（精神遅滞）
13	F 8	心理的発達の障害
14	F 9	小児（児童）期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害
15	詳細不明の精神障害	詳細不明の精神障害
16	てんかん	てんかん（F 0 に属さないもの）
17	その他	その他

F 在院期間区分<コード入力>

在院期間を次の区分により記入してください。

区分	在院期間
1	1年～1年6か月未満
2	1年6か月～2年未満
3	2年～3年未満
4	3年～5年未満
5	5年～10年未満
6	10年～20年未満
7	20年以上

G 症状区分<コード入力>

症状を次の区分で記入してください。

区分	症状
1	調査日には退院日が確定している
2	症状残存だが改善傾向にあり、支援があれば退院が可能である
3	症状は寛解（院内寛解）しているが、家族の受入困難や生活の場の確保が困難などの要因により、入院を継続する
4	症状残存で増悪、動揺又は経過不確定で、入院を継続する
5	症状残存で難治又は慢性長期化の見込みで、入院を継続する

＜＜Gの回答が1～3の方について記入してください。＞＞

H 退院ができない要因<コード入力>

退院に向けての課題となっている主たる要因を記入してください（単数回答）。

区分	要因
1	病状が不安定
2	病識がなく通院服薬の中断が予想される
3	退院意欲が乏しい
4	現実認識が乏しい
5	退院による環境変化への不安が強い
6	援助者との対人関係が持てない
7	家事（食事・洗濯・金銭管理など）ができない
8	家族がいない、本人をサポートする家族の機能が実質ない
9	家族から退院に反対がある
10	住まいの確保ができない
11	生活費の確保ができない
12	日常生活を支える制度が少ない
13	退院に向けてサポートする人的資源が乏しい
14	その他

<<全ての患者について記入してください。>>

I 退院に向けての支援プログラム<コード入力>

病院内にて行っている支援プログラムについて記入してください (複数回答可)。

区分	支援プログラム
1	服薬の必要性を促す
2	社会生活技術の取得を促す
3	地域の社会資源情報を伝える
4	地域援助事業者等の紹介
5	ピアサポーターの活用
6	地域の通所施設への体験通所
7	外泊訓練
8	個別退院支援計画の作成
9	地域移行支援の活用
10	その他
11	特になし

[退院に向けての必要資源]

退院に向けて必要な資源を次の区分により記入してください (複数回答可)。

J 住まいの確保区分<コード入力>

区分	住まい
1	一般住宅 (家族との同居を含む)
2	グループホーム
3	宿泊型自立訓練
4	特別養護老人ホーム
5	養護老人ホーム
6	老人保健施設
7	障害者支援施設
8	その他
9	特になし

K 生活訓練区分<コード入力>

区分	生活訓練等
1	自立訓練 (生活訓練)
2	グループホームへの体験入所
3	その他
4	特になし

L 生活支援区分<コード入力>

区分	生活支援等
1	ホームヘルプサービス
2	訪問看護サービス
3	自立生活援助
4	給食サービス
5	相談支援事業所による支援
6	ショートステイ
7	金銭管理サービス
8	その他
9	特になし

M 活動の場区分<コード入力>

区分	活動の場
1	就労できる場（就労支援サービス含む）
2	地域活動支援センター／地域共同作業所
3	生活介護
4	デイケア
5	自助グループ
6	その他
7	特になし

<<J～Mで「その他」を選択した場合、記入してください。>>

N 退院に向けての必要資源<直接入力>

設問L～Nで、「その他」を選択した場合、具体的にどのような資源が必要だと思うか、記入してください。

--